

大崎耕土 未来へつなぐ「生きた遺産」vol.28

大崎耕土の予祝儀礼

大崎地域の「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に認定されました。

大崎地域には、このシステムを支え代々継承してきた農耕儀礼があります。農耕儀礼のうち、新暦や旧暦の正月に農作業を再現するなどして豊作を祈願して行われる行事を「予祝儀礼」と言います。

大崎地域には県指定文化財である涌谷町の「笹峯寺の正月儀礼」、加美町宮崎の「柳沢の焼け八幡」や「切込の裸カセドリ」があります。市内では、「農はだて」や「ちゃせご」、「鳥追い」などが伝承されてきました。

「農はだて」は農家の仕事始めにあたる行事で、1月11日の早朝よりわらを打って縄をない、厩の堆肥を田んぼに運び入れ、恵方に向かって田を3回鍬打ちします。そして、わらや豆殻などを3株苗に見立て、掘り起こした土や雪に差す「疑似田植え」を行い、年徳神(その年の福德をつかさどる神)に豊作を祈願します。鳴子温泉地域鬼首地区では、6年前から「農はだて」のうち「雪中田植え」(雪中でわらと豆殻を苗に見立て雪に差し込み豊作を祈る)を復活させて継承する試みに取り組んでいます。

「ちゃせご」や「鳥追い」は小正月の夕方に子どもたち(ちゃせご)が「明けの方からちゃせごが参った」、「ホーイ、ホーイ」などと声をあげて家々を訪れ、小銭や餅をもらい歩き、スズメやカラスなどの害鳥を追い払って農作物の安全と豊作を祈る儀礼です。

こうした農耕儀礼は、大崎地域の厳しい自然条件を生き抜く人々の精神の支えであり、儀礼をとおして「人のつながり」や「知恵のつながり」が生まれました。この「つながり」が地域を維持し文化を共有し、「生きた遺産」大崎耕土の水管理システムを支えてきた原動力となってきたのです。



▲切込の裸カセドリ



▲雪中田植え

【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp

1月1日現在の市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,239	+ 3	39,634	- 18	77,873	- 15	31,167
松山	2,968	- 9	3,130	- 12	6,098	- 21	2,196
三本木	3,977	- 4	4,007	- 9	7,984	- 13	2,705
鹿島台	5,826	- 1	6,223	- 4	12,049	- 5	4,544
岩出山	5,348	+ 1	5,649	0	10,997	+ 1	4,195
鳴子温泉	2,946	- 1	3,273	- 9	6,219	- 10	2,760
田尻	5,476	- 13	5,625	- 4	11,101	- 17	3,597
市全体	64,780	- 24	67,541	- 56	132,321	- 80	51,164

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

今月の納税

納期限: 2月28日(水)

軽自動車税	—
固定資産税・都市計画税	—
市県民税	—
国民健康保険税	第10期
介護保険料	第10期
後期高齢者医療保険料	第8期
個人事業税	—

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

	1月15日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05	0.05
松山総合支所	0.05	0.05	0.05
三本木総合支所	0.05	0.05	0.05
鹿島台総合支所	0.04	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.06	0.06

火災発生件数

(12月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	22件	- 15
林野火災	0件	- 2
車両火災	7件	- 1
その他火災	6件	- 8
合計	35件	- 26

交通死亡事故件数

(1月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	0件	0
死亡者数	0人	0

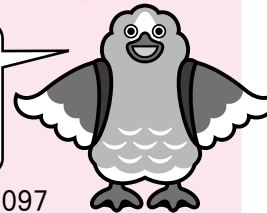
☎ 防災安全課 消防担当・交通防犯担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

2月号の主な内容

- 4 人間ドック 温泉宿泊プラン
- 6 乳がん検診受けていますか?
- 7 輝かしい新年の幕開け
第10回宝の都(くに)・活性化貢献賞・新春講演会・新年祝賀会
- 8 わがまち企業訪問 vol.6 アルプス電気株式会社
- 9 地域づくりファイル
古川地域 高倉地区振興協議会
- 10 市政トピックス 1月の主な出来事
- 11 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- 12 オオサキプレイガイド
- 16 今月のお知らせ
大崎市役所本庁舎建設整備基本計画に対する皆さんからの意見を募集します ほか
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか

ピタ崎さんの観光ひとくちメモ

その19
四季島来市あと6回
(2/5・12・19・26、3/12・19)



☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

市長コラム 天地人

明治改元150年と新生東北

今年のNHK大河ドラマは西郷隆盛を主人公にした「西郷どん」です。ドラマや雑誌・新聞の特集も「明治維新150年」。幕末や明治という時代に集中しています。

明治以降、近代国家への道を歩み出した日本は、内閣制度の導入、憲法の制定、議院政治の導入、鉄道の開業や郵便制度の施行など技術革新と事業化の推進、義務教育や教育の充実など、今日の国の形の基礎、基盤を築き上げてきました。

明治改元150年を機に、明治以降を振り返り、未来につなげていく出発点にしていくべきであります。

同時に、東北に住むわたしたちにとっては、明治改元、戊辰戦争から苦節の150年でもありました。東北31藩は「奥羽越列藩同盟」を結び、義を貫いた戦いに挑みましたが、敗戦し、賊軍の汚名を着せられ、「白河以北一山百文」と

蔑まれてきた歴史でもありました。また、岩出山伊達家、邦直公主従のように、新天地を求めて、北海道開拓に活躍を求めた先人の苦労もありました。

明治改元、戊辰戦争を経て今年、歴史的、運命的な巡り合わせのように、世界農業遺産に認定された大崎耕土に、認定書が授与されます。東北・北海道で初、水田農業地帯としては世界初の快挙であり、名譽であります。

世界農業遺産認定は、新生東北、東北新時代への新たな出発点の「錦の御旗」です。

明治維新、戊辰戦争にかかわった先人たちの郷土への誇りと、気概に学び、新時代を創生してまいります。



大崎市長 伊藤 隆志

今月の表紙

新年を多くの皆さんと共に寿ぎ、笑顔で幸福な1年を迎えられるよう、新春恒例の大崎市新年祝賀会を開催しました。

出席された皆さんは、新年にかける夢や希望を大いに語り合い、交流されました。

また、昨年、男女を通じて日本選手初の世界5階級制覇の偉業を成し遂げた、おおさき宝大使で女子プロボクサーの藤岡奈穂子さんに対し、大崎市特別功績者顕彰が伝達されました。スポーツ界の発展に大きな貢献を果たし、社会貢献活動にも積極的に取り組まれたことなどから顕彰されたものです。顕彰は故フランク永井氏に継ぎ大崎市で2人目となります。



当日は渡米中のため、藤岡選手のビデオレターが上映されました。昨年12月、5階級制覇凱旋報告会の様子

最高級リゾート列車「トランスイート四季島」が昨年12月から鳴子温泉駅に来ているよ。残すところあと6回。これまで、乗客の皆さんを歓迎しようと、市内各地域からたくさんの方が鳴子温泉に足を運んで、心に残るおもてなしをしてきたんだ。

特に、鳴子から帰るときに「また来てね」という思いを込めて手を振ると、車窓からうれしそうに手を振って



▲四季島を見送る地域の皆さん

てくれて、雪化粧した鳴子温泉があたたかい雰囲気になってきた。